

2022年3月29日発行



「鵬際」鵬は翼の幅3,000里、一飛びで90,000里という伝説上の中国の鳥。そこで鵬（おとり）が飛ぶ（＝はるかなかなたの）空のことを言う。「際限のない」という意味でも使われる。私たち経済開発同友会の目指す活力ある八代づくりも、言わば際限のない努力を必要としますが毎年この機関誌を出す事によって一步一步目標に近付きたいものです。その願いを込めて誌名を「鵬際」と名付けました。尚、題字は本島小夜子先生にお願い致しました。



八代経済開発同友会
(通巻第136号)

<http://www.goroyoka-yatsushiro.com>
E-mail:jimukyoku@goroyoka-yatsushiro.com



八代経済開発同友会 令和3年度 スローガン 尖（トガル）@2021 2年間を振り返って

八代経済開発同友会 第58代 代表幹事
吉武 卓 哉

桃の花咲く季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

このような中、海外ではロシアによるウクライナ侵攻により首都キエフや各地の軍事施設をミサイルによる空爆等において、一般市民にも多くの死傷者が出ております。一刻も早い事態の収束を願うばかりです。そして、国内では新型コロナウイルスによる蔓延防止重点措置（2022.1.21～2022.3.21）の中、感染者の高止まりが続き感染予防対策を行う日々が続いておりますが、新型コロナウイルス感染症においても事態の収束と、皆様の商圈に活力が戻ります事を祈ってやみません。

さて令和2年度4月に八代経済開発同友会、第57代代表幹事を仰せつかり

尖（トガル）

鋭い感性（個性）とアイデアに基づき夢の実現に向けた同友会活動を行う

このスローガンを掲げ、6つの委員会で様々な活動に取り組んで参りました。

2年前のスタート直前に新型コロナウイルス拡大による小中高校の一斉休校、各種会議や懇親会の中止・延期等の中、本会の総会も書面決議とさせて頂きましたが令和2年5月より早速、ZOOMを活用したオンライン例会や委員会を開催しコロナ禍に対応した活動を行ってきました。

その矢先、同年7月に熊本豪雨災害が発災し、人吉・球磨地域をはじめ本市坂本町でも甚大な被害をもたらし、現在も休むことなく道路や橋梁の復旧・復興が行われております。

暗いニュースが続く中で同年6月には、日本遺産登録認定となった「八代を創造（たがや）した石工たちの軌跡～石工の郷に息づく石造りのレガシー～」そして同年10月に土日祝日限定でのくまモンポート八代のオープン、令和3年2月には蒲島知事を会長とする「八代・天草シーライン建設促進協議会」が設立され、シーラインの実現に向けての大きな一歩を踏み出すと共に、今後県南を含めた新たな運動展開が必要となってきます。

更には、令和3年7月に八代港のにぎわい拠点となる旅客ターミナルやくまモンポート八代などの「みなとオアシス」への登録や令和3年8月には「八代市民俗伝統芸能伝承館」のオープン、令和4年2月には八代市役所新庁舎が落成し、同年2月14日に新庁舎にての業務が開始されております。

この2年間、感染症対策、気候変動における災害、新しい会議スタイル、紛争問題等、過去に例のないスピードで取り巻く環境が変化する中での本会活動でしたが、別ページにて各委員長より委員会活動を明記して頂きます。鋭い感性（個性）とアイデアに基づき夢の実現に向け議論したメンバーの皆さんをはじめ、6名の委

員長、各委員長をフォローしてくれた4名の副代表幹事、感染症対策やオンライン会議の準備等、専務理事をはじめ事務局長・事務局次長そして事務局員、全ての皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

そして、各経済団体の皆様、熊本県・八代市、行政の皆様におかれても重ねて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

専務理事 村田 眞一郎



コロナ禍において当会の運営の責任者として2年間携わらせて頂きました。至らない点が多々あった事と思いますが、ご協力頂きました会員様、幹事の方々、そして吉武代表幹

事には、心より謝罪と感謝の思いでいっぱいです。

例会の開催については、感染状況が刻々と変わる中、どのような開催形式がベターなのかを考え、時には直前で変更して頂くなど、担当委員会はもちろん会員の皆様は大変混乱されたことと思います。しかしながら、振り返ってみますと、担当委員長様はもちろん、各担当委員会メンバー、そして何より会員の皆様には積極的にご参加頂き、1年間大変内容のある例会ができたと感じております。特に、吉武代表の思いであります「会の最小単位は委員会であり、その委員会を大事に」という通り、全ての委員会での会員の参加率がこのような状況にもかかわらず、大変高かったことは、非常に良かったと思います。

ただ、下山事務局長、綿田事務局次長、西村事務局員には、本来の会運営に必要な職務内容について、十分に時間を費やし検討する時間がなく、ひたすらコロナ禍での例会、委員会、その他の開催方法、リモートやハイブリッド開催の手法の習得などのためにほとんどの時間を費やしてしまったことには、申し訳なかったと思います。リモート開催やハイブリッド開催については、ようやく少し慣れてきましたので、会運営に必要な本来の職務については今後協力しながら改善していければと思います。

改めまして、この大変な環境の中、ご協力頂きました事を御礼申し上げます。

最後に、「奉仕の志を持つ者が、共に集い、学び合い、幸福感のある企業と、活力ある地域づくりに貢献する」の理念のもと令和4年度も村田眞一郎新代表幹事のもと様々な活動を展開してまいります。

行政の皆様、各関係団体の皆様におかれましては、これまで同様にご指導・ご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます、ご挨拶と致します。

副代表幹事 三枝崎 能久



前年度に引き続き、八代・天草シーライン及びやつしろのタカラ探し（前年は地域支援委員会）両委員会を担当致しました。このコロナ禍に於

いても、飛石・江崎両委員長の前向きな活動は頭の下がる思いであります。シーライン委員会では、建設実現に向け当初の目標であった県協議会が昨年設立された事により、次なる目標設定と更なる地域の機運醸成を図る為に、民間期成会や他団体、行政を含む定期的な会合にて議論をし、委員会メンバーの知恵を頂きながら邁進しております。更に担当例会に於いて、B/Cでは計れない「シーラインのある地域ビジョン」を描くヒントをいただき、次年度への糧を繋ぐ事が出来た様に感じております。

次にやつしろのタカラ探し委員会に関しましては、この状況下に於いても昨年同様、江崎委員長の常に前向きに一生懸命チャレンジする姿を見せられました。出来ないではなく出来る方法を検討して行った結果、継続事業である「どや顔事業」と「献灯運動」も大きな反響を頂くことが出来たと思います。これだけでも大変な事業ですが、更に八代の宝となるポテンシャルがある「石工」にスポットを当て、一昨年日本遺産に認定された文化財群の発信にも取り組んでいきました。

私自身も両委員長を始め、皆様方から多くの事を学ばせて頂くことが出来た一年であったと思います。そして皆様のお陰で当会の「理念」に沿った活動ができ、恵まれた一年であったと感じております。皆様、お力添えを頂きありがとうございました。



副代表幹事 木 本 清 勝



今年度、副代表幹事として「安心なまちやつしろプロジェクト推進委員会」を担当させて頂き、コロナ禍の中、幸いにも10月に担当例会を実施する事が出来ました。Web開催もシェアに入れながらでしたが一美委員長をはじめ、委員会メンバーが入念に準備して頂き、リアル開催が出来たことを嬉しく思います。

また、副代表幹事として会則の職務をみると「副代表幹事は、代表幹事を補佐して業務をつかさどり、」とありますが、正直殆ど出来ていないと実感しています。代表幹事には迷惑しか掛けていない印象の1年でした。コロナの終息が見えない中、今後も「安心なまちやつしろプロジェクト」と「TUNAGU事業」に関しては、形は変われ、活動自体は続くと思います。両事業に通ずるものは縦の繋がりではなく横の繋がりを重視している点だと思います。代表の所信にもありました「小さい個々の力を集結し、大きな力に変えていく」を実現するのが両事業と考え、取り組んでいきたいと考えます。

最後に吉武代表幹事をはじめ常任幹事会及び幹事会、安心なまちやつしろプロジェクト推進委員会委員の皆さんには一年間、本当にお世話になりました。新体制の下で次年度も精一杯頑張ってお参りますので、引続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

副代表幹事 俵 壮 一



港みらい委員会は一昨年の3月に完成したくまモンポート八代の利活用を中心に、八代港の活性化を考え経済効果に寄与する為に委員会活動を行って参りました。しかしながらコロナ禍でくまモンポートの開園はプレオープンにとどまり、海外のクルーズ船の寄港も未だに未定となっています。

そんな中、昨年7月31日に八代港は国土交通省の認定により「みなとオアシス」の登録を受けました。みなとオアシスとは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が断続的に行われる施設が登録されるものです。

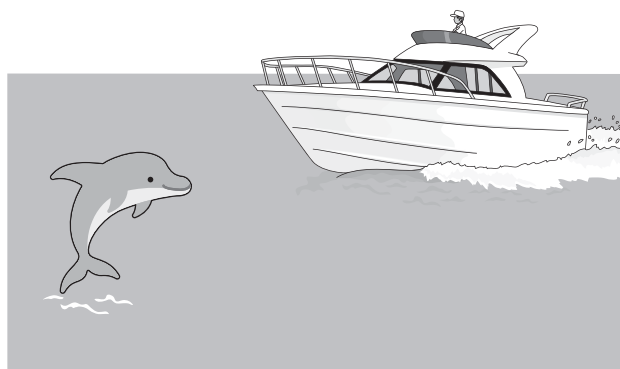
9月例会では「みなとオアシス登録による八代の

みらい」のテーマで、先ずは認知度の低い「みなとオアシス」を同友会メンバーが認識・今後の課題等を考える機会を作りました。また本年3月には【Sea級グルメ八代大会】をくまモンポート八代・クルーズ活性協議会を中心に同友会でも実行委員会を立上げ大会支援・集客の為の取組を行いました。蔓延防止期間の延長により大会は延期になりました。非常に残念な結果になりましたが、今後も官民一体となり八代港の発展に寄与できる事業を続けて行ければくまモンポート・八代港の発展に繋がると信じています。一人ひとりが他人ごとにならずに取組んでいけばもっと素晴らしい八代港になると思いますので、これからも皆様のご支援を宜しくお願い致します。

副代表幹事 坂 本 文 仁



一年間を振り返ってとの事ですが、本当にあっという間だったような気が致します。普段の生活ではない生活が普段の生活と置き換わりそれが普通となってきました。そんなコロナ禍の中、本年度も引き続き、会員交流拡大委員会を担当させて頂きました。しかし昨年と同じようにコロナ禍の中、交流の部分は本当に難しい問題でした。本来ならコロナ収束、「花見で一杯」「慶寿の会で一杯」「釣り大会で一杯」「ゴルフで一杯」「例会終了後の一杯」「オリンピックで一杯」と色んな交流の機会が出来るとの淡い期待も裏切られ、行動も制限されて昨年も大変な一年でありました。とはいえ下田委員長の目標とされた旧郡部のメンバーの増強は本当に熱い思いで達成されました。大変な中ではありましたが、宮原、鏡と委員会を開催され、多くの会員の入会に繋げる事が出来ました。物事を達成するには熱い思いが必要と再認識することが出来ました。そんなこんなをつまみに早く皆様に一杯やりたいものですね。



八代・天草シーライン建設促進委員会 委員長 飛石 幸 弥



新型コロナの影響で、署名活動は思うように実施出来ませんでした。ホームページの新規立上げや啓発看板の新規設置計画など建設促進に向けた啓発活動を主に行って参りました。啓発看板については、現在設置計画している箇所が許可が下りず難航しているところですが、平山会員のご協力で沖町の臨港線沿い、農免道路沿いと2か所に設置頂きました。

シーライン構想においては、熊本県及び国土交通省の新広域道路計画に構想路線として初めて計画に挙がり、実現性に向け期待がますます高まってきている中で、10月の委員会で県の道路整備課・交通政策課の担当の方をお招きして、道路計画の内容とシーラインの位置付け等についての意見交換会の実施、12月に上天草市で開催の構想推進大会への参加、2月例会は残念ながらリモート開催となってしまいましたが、熊大の円山準教授をお招きし、「八代・天草シーラインと地域の将来像」と題して講演を頂きました。今年もイベントの中止や人との交流が制限され、表立った活動が困難な状況が続きましたが、毎回委員会メンバーの皆様には委員会へのご参加を頂き、沢山の意見とアドバイスを頂戴し、コロナ収束後に向けた準備を進められた一年になったと思います。自分自身色々な事がありすぎて、事業を思うように進められなくてご迷惑をお掛けした一年でしたが、幹事会の皆様、委員会メンバーの皆様等、沢山の方々のご支援をいただき、無事一年を終える事が出来ました。ありがとうございました。

やっしろのタカラ探し委員会 委員長 江崎 光 幸



令和3年度は新型コロナの影響で同友会の活動にも様々な制限が掛かり、中々思うように委員会や事業が出来ませんでした。そんな中でもやっしろのタカラ探し委員会では7月例会と継続事業として献灯運動を行いました。

2020年6月には八代を創造（たがや）した石工たちの軌跡～石工の郷に息づく石造りのレガシー～が日本遺産に登録となり、昨年3月には大型バスを貸しきり、感染予防対策を万全にし、3月例会を開催しました。3月例会で学んだことを7月例会では日本遺産の今後の利活用について学びました。

また3年目となる献灯運動も祭りの神幸行列は中止になりましたが神事などは開催され、献灯された提灯の数も120個となり、妙見宮を明るく照らし、来年への妙見祭開催への期待と希望になりました。

2年間、コロナ禍の中で委員長をさせていただきましたが、委員会を盛り上げていただいた委員会メンバーの皆様、例会や事業にご参加、ご協力頂いた会員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

安心なまちやつしろプロジェクト推進委員会 委員長 一 美 慎 也



私たち安心なまちやつしろプロジェクト推進委員会は、八代市を長く続くコロナ禍においても「安心して仕事ができるまち」「安心して仕事を頼めるまち」「安心して消費できるまち」にするため、「安心なまちやつしろプロジェクト」と「TUNAGU事業」の推進に力を入れ活動して参りました。

安心なまちやつしろプロジェクトの登録店は2247店となり、TUNAGUの登録会員は58となりました。微力ながら登録の後押しが出来たのではないかと考えております。

10月には、幸運なことに予定通り会場に集合して例会と懇親会を開催することが出来ました。例会講師に一般社団法人らぞLABO代表理事の北様をお招きして、安心なまちプロジェクト・TUNAGU事業とSDGsの関係性と可能性、八代市や自社の将来の理想像をバックキャスティングで実現していくアイデアなど貴重なお話をお聞きする事が出来ました。御参加頂いた会員の方からも好評を頂き、今後のアイデアや気づきを少しでも提供できたのではないかと思います。

コロナ禍において、思うように活動ができない部分もあり御迷惑をお掛けした部分もあったかと思いますが、これまで当委員会の活動に御理解、御協力頂きました全ての方々と未熟な私を支えて頂いた委員会メンバーに感謝を申し上げます。

1年間誠にありがとうございました。



港みらい委員会

委員長 守田 邦宏



本年度初めて委員長を受けさせて頂き、委員会メンバーの方はじめ、皆様方より多くのご協力ご助言を頂きながら進めさせて頂きました。当委員会としては、くまもんポート八代の観光拠点としての活用やノンシップデーにおけるの利活用等を委員会指針とし運営を進めて参りました。

くまもんポート八代は、ご存知の通り新型コロナ感染拡大にともない、クルーズ船の寄港もない状況が続いております。その中で八代港は昨年7月31日に国土交通省の登録認定により「みなとオアシス」への登録がなされました。これにより、港を中核とした賑わいの創出に取り組まれていく事となりました。当委員会としても、熊本県や八代市の港湾担当の職員の皆様方を例会、委員会にお招きし勉強会等に取り組んで参りました。

その中でみなとオアシス全国協議会が取り組まれている「Sea級グルメ」を八代で開催すべく、八代市観光・クルーズ振興課と何度も協議を行い同友会としても実行委員会を立ち上げました。しかしながら今回も新型コロナ感染拡大の為に延期となりました。当委員会としても大変残念でありましたが、今回は中止ではなく延期として本年開催を目指しておられる事が救いではありました。

今後も八代地域において、くまもんポート八代をはじめとする八代港への取り組みや、それらを活用することによる地域活性は不可欠であると考えております。新型コロナ収束後、改めて国際クルーズ客船の寄港や、ノンシップデーの利活用により港の賑わいが生まれ、より必要性の高い港に発展することを祈念し、1年間の振り返りとさせていただきます。

1年間本当に、ありがとうございました。

会員交流・拡大委員会

委員長 下田 和利



皆様1年間、御協力ありがとうございました。まずをもって御礼申し上げます。

本年度はコロナによる事業の中止が度重なり皆様に対してのサービスが出来なかった事、大変心苦しく思い、深くお詫び申し上げます。しかし、その中でも我が八代経済開発同友会は長年の念願だった100人の会員数目標を

達成することが出来ました。これも会員皆様の御協力の賜物と深く感謝申し上げます。親睦の面でもゴルフ大会や釣り大会など多数の皆様に出席していただき親睦を深めることができました。ただ1つ残念だったのは例会後の懇親会がなかなか開催できなかったことです。コロナの収束を願い、会員皆様の益々の御健勝を願い、御礼に変えさせていただきます。ありがとうございました。

情報発信委員会

委員長 中尾 衣井子



今年度を振り返ってみても、昨年同様コロナに振り回された一年だったと感じています。昨年度末から意気揚々と準備していた5月例会が、感染拡大の影響により急遽内容変更の上でZOOM開催となりました。5月24日に開催し、西日本電信電話㈱熊本支店第二ビジネス営業部長 前田慎吾様に「サイバー攻撃最新情報と対策のポイント ～熊本県内の中小企業の実態～」と題して、現状や対策方法を分かり易くご講演頂きました。

また、当初5月例会で予定していた内容は3月17日に開催した3月例会で実施致しました。こちらは何とかハイブリッド例会で対応でき、西日本電信電話㈱理事 熊本支店長 朝倉順治様に「スマートな地域社会の実現に向けて ～わくわく未来都市くまもと～」と題してご講演頂きました。皆様と顔を合わせての例会が開催出来た事に感謝致します。

広報誌作成やホームページ更新も有益な情報提供を行おうと心掛けておりましたが、大して出来なかったように感じております。また新たな取組としてのデジタルトランスフォーメーションですが、こちらも例会開催のみで他は何の活動も出来ず申し訳なく思っております。

2年前に吉武代表が「同友会で4人目の女性委員長」と仰いました。数少ない女性委員長として何か足跡を残せたら…と当初は意気込んでましたが、結果は何も残せず、却って足を引っ張る形になったのではないかと反省の念で一杯です。

ただ、これまで一緒に活動してきた委員会メンバーに恵まれたのが唯一の救いです。委員会メンバーの皆様、そして全ての会員様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

事務局長 下山 修 生



本年度を振り返りまして、引き続きコロナウイルス感染症の影響を受けた年となりました。ただし本年度は、前年度の経験を活かしたうえで、本会としての対策・対応が定まってきたように思われます。

事務局では、総会を担当しております。4月定時総会は書面による総会、11月定時総会はハイブリッド総会、1月臨時総会はWEB配信の総会とそれぞれ違った形式の総会を開催しました。会場からのZOOM配信する知識や会員のZOOM利用の経験値が上がっており、コロナウイルス感染症が収束するまでは、総会の開催につきまして、ハイブリッドで準備を進めておき、感染者数が増加により、会場へ集うのは控えた方が良くと判断される場合には、WEB配信へ切り替えるというスタンスがスムーズに進むと感じています。ZOOMの利用にあたっては、音声や映像のトラブルがないよう細心の注意が必要となりますが、この2年間の経験により克服しつつあると思います。また受信する受け手のトラブルも考えられますので、ZOOM参加者用の委任状も用意しました。総会は、会員の皆様のご参加・ご協力により成り立ちますため、今後ご厚意のほどよろしくお願い致します。

会員の皆様1年間ありがとうございました。事務局長の職務につきまして、分からないところもあり、ご迷惑をおかけする点もあったかと思えます。今後、事務局長に就かれる会員がお困りになることがないよう、次の1年間で職務の整理、資料の整備を進めていきます。引き続き皆様のご協力をお願い致します。

一年間
お疲れ様でした!!



12月例会報告

12月11日に八代グランドホテルにて例会を開催致しました。今回は金子恭之総務大臣に「総務大臣の仕事」というテーマでご講演頂きました。会員の皆様も前例にない程の関心を示され、熱心に講演を聞いておられました。

また金子総務大臣におかれましても、大臣就任後の講演という事もあったか、予定時間もお忘れになり10分以上超過しての熱弁でした。お陰様でかつてない程盛り上がった例会になりました。

例会後は延期していた慶寿の会を行いました。今回慶寿をお迎えの会員様は4名でしたが、ご都合が付き2名のご参加となりました。慶寿をお迎えの会員様、誠におめでとうございます。こちら時間も時間が許す限り、金子総務大臣にご参加頂き、会員の皆様が大臣を取り囲んで熱心に会話されてました。

このように素晴らしい例会が出来たのも、過密なスケジュールを調整頂いた金子事務所の秘書様、総務省職員の皆様のお陰です。深く感謝しますと共に、ご参加頂きました会員の皆様に深く感謝申し上げます。



1月臨時総会

令和4年1月18日(火)19時より、1月臨時総会を会場ホワイトパレスにて開催しました。

本来であればハイブリッド形式にて開催予定でしたが、オミクロン株の急激な拡大により、急遽リモート総会へ切り替え開催致しました。変更の案内をすることになりましたが、会員の皆様より、早急な出欠のご返信と委任状の提出をいただきまして、大きな混乱なく開催に至りました。心より感謝申し上げます。

議事は、第1号議案「組織図(案)」、第2号議案「役員選出(案)」を承認いただきました。次年度代表幹事のやつしろの未来構想へ想いのつまった委員会が組織されました。議事終了後は、承認いただいたばかりの次年度委員長の方々に挨拶をいただきました。委員長の方々は、この数年で入会した会員になります。総会の中で挨拶の時間が取れて良かったと思います。最後にくまモンポート活性化事業の趣旨説明があり、総会を閉じました。いよいよ次年度の準備が始まります。令和4年度も宜しくお願い致します。



2月例会報告

2022年2月22日(火)にZOOMにて2月例会を開催致しました。

今回は、熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター准教授 円山琢也先生をお招きして、「八代・天草シーラインと地域の将来像」と題して講演を頂きました。残念ながら新型コロナの影響でZOOM開催となりましたが、道路事業評価の現状や費用便益分析のしくみ、経済波及効果分析の留意点など、熊本市都市圏や宇土三角道路など現在計画中の事例を交えながらお話頂き、今後シーライン構想を盛り上げていくうえで重要なポイントは何か、たくさんのヒントを与えて下さった内容となりました。今まで取り組んできた事をベースに、シーラインのある十数年後の未来を描き、そこに暮らす行政・経済界・住民の皆さんと一緒に将来を考え機運を盛り上げていく事が必要であると実感し、また最後に先生が言われた「責任をもって夢を語る」という言葉が印象的で、我々同友会がこれから取り組むべき方向性はこれだ！と思いました。当日は、会員の皆さんの他に、八代商工会議所・八代青年会議所・八代建設業協会・八代市企画政策課の方々や、橋梁通信社阿部社長様、熊本大学・熊本県立大学の学生様等たくさんのオブザーバー参加を頂き、感謝申し上げます。最後に、当日早い時間からリモート配信の準備で協力いただいた幹事会・委員会メンバーの皆さま、私の不手際もありましたが、無事例会を終える事が出来ました。ありがとうございました。



3月例会報告

3月17日19時からホワイトパレスさんにて3月例会を開催致しました。ZOOM併用でのハイブリッド開催となりました。

今回は西日本電信電話株式会社 理事 熊本支店長 朝倉順治様に「スマートな地域社会の実現に向けて ～わくわく未来都市くまもと～」と題してご講演頂きました。スマートな社会の実現とはリアル空間とサイバー空間の共存社会で一人ひとりの心が豊かになる事を実現するという事、またICTを活用した地域社会のスマート化への貢献事例紹介を頂きました。

わくわく未来都市くまもとの実現に向けては、西日本地域は課題先進地域ではあるが、成長のタネとなる強みも存在するためこれを活かす事が重要とお

話されました。実現にむけての今までの取組、今後のコンセプトやアプローチもご紹介頂きました。

また、デジタルトランスフォーメーション（DX）については、企業でDXが進まない要因や今後進めていくステップを説明頂き、更には現在DXを活用した課題解決や都市DXのアプローチ事例紹介を頂きました。

飽きないよう動画を活用され、余談も交えながらのご講演であつという間に終了した気がします。朝倉様にはご講演頂きました事、感謝申し上げます。ありがとうございました。

例会では講演の他、熊本銀行八代支店長徳永会員が異動のため今回で会員交代となる旨のご報告がありました。また吉武代表へ昨年度・今年度の幹事会メンバーからのサプライズもあり、無事に本年度最終例会を終える事が出来ました。皆様ありがとうございました。



マチナカに
ミライが
舞い降りる。

マチナカxRミュージアム

KUMAMOTO St. xR MUSEUM 2022

3月19日金 - 5月22日金

見たことのないアートの世界！デジタル技術の最先端を体感しよう！

マチナカxR 水族館	マチナカxR ミュージック	マチナカxR アート	マチナカxR バレト
 3つのアーケード街の空間に、今まで見たことのないデジタル水族館が出現！	 2の丸広場では、熊本城をバックに0.96kのデジタルコラージュが宙を舞う！	 花畑広場の空間に、熊本市内の学生達が描いたアートが出現！	 3つのアーケード街の空間に、くまモンや0.96kメンバーが出演する「バレー」開催！

熊本県と
東京大学先端科学
技術研究センターが
作成した
「VRxくまモン」を
活用した
3D映像！

詳しくは
コチラから

主催／熊本商工会議所、熊本市中心商店街等連合協議会、西日本電信電話熊本支店 後援／熊本県、熊本市